

No.104

2019

12月5日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
古瀬 栄一
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

萩の郷夏祭り 初の室内実施



下市田保育園児のダンス発表



3区自治会の抽選会

萩の郷文化祭り ふれあい広場(敬老祭)のみ実施



高森ニューサウンズの吹奏楽演奏

萩の郷支館一大行事 台風の為 苦渋の判断で実施!!

萩の郷夏祭りは、昨年度台風のため中止。今年度も台風六号が七月二十七日午前七時に三重県南部に上陸。その影響が心配されましたが、同日午後六時から室内で実施しました。室内での実施は、全てが初めての経験。不安な面も多々ありましたが、足下の悪い中にもかかわらず、約七百名もの多くの皆様に参加を頂きました。ステージ発表や初めて取り入れた抽選会も好評で、にぎやかで楽しく、盛大な夏祭りができました。

また、十月十二日と十三日に予定していた萩の郷文化祭り・ふれあい広場も、台風十九号が十二日午後六時に伊豆半島に上陸。県内でも千曲川が決壊する等、甚大な被害ができました。そのため、十二日の行事は中止にし、十三日のふれあい広場「敬老祭」のみ実施しました。幸い当日は、秋晴れで、敬老者九十七名、関係者も含めて約三百名の参加がありました。駐在所所長さんの講和後、式典では、喜寿・米寿・卒寿百七十四名の皆様に記念品が贈られ、楽しい時間を過ごすことができました。

このように、今年度は萩の郷二大行事が、自然災害「台風」に振り回され、実施に当たり苦渋の判断にせまられました。しかし、多くの区民や関係者の皆様方のご協力で無事終了することができましたことに、心より感謝申し上げます。

区の情勢について

区長 古瀬 栄一

コミュニケーション
力づくりに等しい

用をしてくださいます。

下市田区と支館で行う萩の郷夏祭りが、台風の影響を受けて屋内開催となりましたが、区民の皆様の協力を得まして無事行うことが出来ました。文化祭り・萩の郷ふれあい広場も台風の影響を受け文化祭りは全部中止、ふれあい広場（敬老祭）は大勢の人の参加を頂き実施して乗り切りました。今年ほど台風の影響があったのは初めてではないかと思えます。



昨年度区民会館の和室がフローリングとなり、今年度コミュニティ助成金で百名ほどが利用できるテーブル及び椅子の設備が整いました。地域の

下市田産業用地（下市田河原）への誘致企業も決まり、大規模な工事が行われています。リニアガイドウェイヤード用地工業団地を含めて大きく様変わりしていきます。萩山郷土芸能保存会の祝獅子用の頭が破損して使用に耐えない状態となりましたので頭を新調し一つを修理しました。来春の保存会春祭りにおいて初舞となります。簡単ですが情勢を報告いたします。



平成三十一年度（令和元年）
前期決算の
監査委員所見

監査委員長 宮島達朗

平成三十一年度（令和元年）前期決算の監査を十月二十三日区民会館に於いて実施致しました。下市田区一般会計並びに特別会計前期決算報告書に基づく監査、公民館下市田支館前期決算報告書に基づく監査、萩山神社前期決算報告書に基づく監査を行いました。金銭出納帳・預金通帳・請求書・領収書綴り・元帳等精査した結果、其々の処理が適切に且つ正確に処理されていました。ここに、日々のご努力に感謝し、報告とさせていただきます。

平成31年度（令和元年）下市田区一般会計 中間決算報告書

（自 平成31年4月1日～至 令和元年9月30日）

決算収入額 20,328,818円 決算支出額 13,176,706円 差引残高 7,152,112円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
前期繰越金	5,424,112	5,424,112	0
区 費	15,070,000	6,609,480	△ 8,460,520
町 支 出 金	6,005,000	4,800,002	△ 1,204,998
財 産 収 入	1,072,000	663,317	△ 408,683
地元負担金	313,000	34,372	△ 278,628
消防義務金	1,350,000	1,370,000	20,000
諸 収 入 金	1,060,000	166,421	△ 893,579
繰 入 金	1,260,961	1,261,114	153
収入合計	31,555,073	20,328,818	△ 11,226,255

【支出の部】

△印：減（単位 円）

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	13,644,000	6,829,977	△ 6,814,023
環境衛生費	1,007,000	0	△ 1,007,000
林 務 費	720,000	185,652	△ 534,348
土 木 費	1,677,000	133,752	△ 1,543,248
水 利 費	4,860,000	1,861,322	△ 2,998,678
防 災 費	3,351,000	1,937,295	△ 1,413,705
公 民 館 費	3,000,000	1,500,000	△ 1,500,000
予 備 費	3,296,073	728,708	△ 2,567,365
繰 出 金	0	0	0
支出合計	31,555,073	13,176,706	△ 18,378,367

平成31年度（令和元年）公民館下市田支館 中間決算報告書

（自 平成31年4月1日～至 令和元年9月30日）

決算収入額 2,375,922円 決算支出額 1,650,780円 差引残高 725,142円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
繰 越 金	484,917	484,917	0
繰 入 金	3,000,000	1,500,000	△ 1,500,000
補 助 金	520,000	388,000	△ 132,000
雑 収 入	1,000	3,005	2,005
収入合計	4,005,917	2,375,922	△ 1,629,995

【支出の部】

△印：減（単位 円）

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	1,930,000	755,161	△ 1,174,839
事 業 費	1,860,000	895,619	△ 964,381
広 報 費	11,000	0	△ 11,000
予 備 費	204,917	0	△ 204,917
支出合計	4,005,917	1,650,780	△ 2,355,137



山の神様 お願いだあ～

萩の郷夏祭り

—7月27日—

初めての室内開催

今年も台風接近となり室内に決定しての夏祭り。関係者に連絡する一方会場構成・テント配置・お楽しみコーナーの位置・照明の関係・プログラムの変更等、代表者と当日に検討会議をしまして、テントが風で飛ぶ事の無いように、又照明の設置と進めて本番です。交通防犯指導員・安協の皆様、雨の中カップを着ての交通整理本当にご苦勞様でした。

開会当初、雨が少し激



今年は大抽選会があるってよー

しいときもありましたが、狭いので混雑しました。柿丸サンバ・プチエンジェル・木遣り・喇叭・紅華の太鼓と進みました。保育園児は年長さんだけお願いしましたが、保護者の皆様の移動に狭いため気の毒に思いました。キッズの踊りも済み、各自治会の踊りと花火大会、全員の踊りまでも中止。練習準備して頂いたのに

すみません。さて今回は、大抽選会を取り入れました。本来なら藤松自治会長が、当選一位のところ、男気を出してジャンケン大会で譲って頂き、又盛り上がりしました。しかし問題は有ります。ホールしか音声が聞こえない、出店の人やお客様が中の事がなにも解からない事や、出店の位置と

買い物する人の位置関係、玄関前にお客様用テントを設営すれば良かったなど、今後の反省修正事項ですが、雨天時のサンプルになったと思います。

無事終了出来たことを関係者各位に厚く御礼申し上げます。

松沢記



柿丸サンバで元気よく





ふれあい広場(敬老祭)

令和元年十月 十三日「萩の郷文化祭り」が開催されました。今年は記録的な災害をもたらす台風がやって来るといふ事もあり、屋内展示は中止となり一日のみとなりました。会場に到着すると第一茶道ク

令和元年十月 ラブ・一期会の皆様による「抹茶の接待」がありました。隣には下市田史談会の皆様による展示があり、ご覧になられた方々は熱心に史談会の方の説明を聞いておられました。

次に公民館事業として、高森町駐在所所長塩原悟様による「高齢化社会注意事項について」の講演会がありました。

令和元年度 下市田文化祭り 萩の郷ふれあい広場



自動車運転する際の注意事項や振り込め詐欺



の防止方法として、留守番電話にしておき、かけなおす、家族で合言葉を決めておく、などのお話がありました。

続いて敬老祭、祝宴・昼食を食べながら舞台発表へと移りました。

木遣りラップ保存会による威勢のいいラップ、高寿会による合唱、柿楽会による歌と踊り、高森ニューサウンズによる馴染み深い曲の数々、上原ふみゑさんの日本舞踊、

自動車の二人ペアの日本舞踊、静永弘会による三人の息の揃った舞踊。劇団にっこりんのマジックと南京玉すだれ、ルアナフラダンスの会のハワイの風を感じるダンス。最後に全員で信濃の国と青い山脈を歌い、長寿の皆様の末永い健康を祈念しながら終宴となりました。

小木曾記



消防ふれあい広場

消防団第一分団分団長 池田 聡史

日頃から消防団の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。今年夏は夏の萩の郷祭りと秋の消防ふれあい広場が生憎の悪天候により、消防団ブースが行えませんでした。来年は天候に恵まれ、盛大に開催されることを願います。同時に台風十九号の接近に伴い、全国各地で河川の増水・氾濫が起きました。高森町でも天竜川沿いの地域に対して、警戒レベル3に相当する情報が出されました。幸い該当地区で大きな災害は起こりませんでした。しかし、災害はいつでも起こる可能性があります。日頃から防災意識を強く持ち、早め早めの行動を心掛け、自らの命を守るようお願いいたします。また、九月には消防設備点検として、各家庭に伺わせていただきました。ご協力ありがとうございました。日頃から防火設備を整え、い

ざという時の備えをよろしくお願

すうどく

数独

〈ルール〉

あいているマスに1から9までの数字のどれかを入れます。タテ列・ヨコ列(各9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(9マスのブロックが九つ)のどれにも1から9までの数字が一つずつ入ります。

			9	8	6			
		9				1		
		4	5		1	2		
1				9				3
	7	5				6	9	
			7		8			
6		3	4	1	5	9		7
4				2				1
		1				5		



高森町消防団第1分団3班詰所

萩山神社より

氏子総代長 富田



紘

より神社境内の老木も今年に入ってから

日頃より萩山神社の運の築いた文化と伝統を大に営に当たり、区民の皆様事にし、氏子の皆様の憩には多大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。秋祭りも終わりに、祭事の方も半分が済み、これよりは十一月の七五三、そして新穀感謝祭。十二月の大祓祭。年が明け一月の元旦祭、三月の春祭り、令和元年の祭事も終わります。この頃、異常気象に

三本の太木が倒れ、伐採をして頂きました。この様な事が毎年起こるのではないかと心配します。萩山神社は長い歴史もあり先人の方々の



御射山祭の祭事の模様

三六災害の教訓を 防災につなげよう

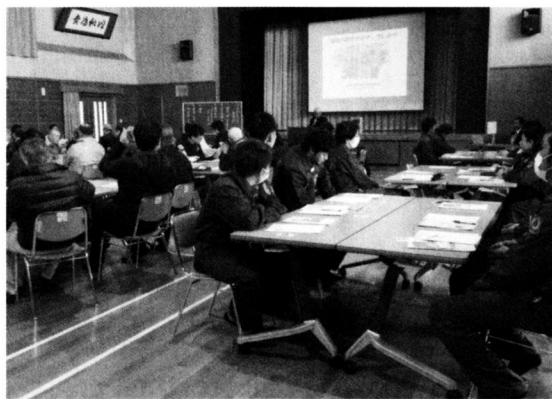
三区 林 まゆみ

伊那谷断層帯の
発見者です。三
月には、実際に
段丘の急斜面を

防災の日、区主催の防
災研修会が開催され、約
七十名が参加しました。
ご存じの通り、町の防災
ハザードマップを見ると、
下市田には急傾斜地が多
く、地滑りや、土砂災害
の警戒区域が段丘の下段
に多くみられます。

かねてより地元の地質
の歴史を知ることが大切
と感じており、共催する
ことができ大変ありがた
く思います。

講師の二区在住の理学
博士・松島信幸先生は、



町では、段丘林の
樹種変更で防災に役
立てる取り組みを始
めています。今後は
地元の災害の歴史を
反映した防災マップ
を作成し周知するこ
とや、住民が自分の
住んでいる場所の危
険性を認識し、いざ
という時には、早め
の避難をすることが
大切だと思います。

各自治会 分館活動だより

下市田一区納涼祭

一区分館長 松村 啓八

七月二十日(土)午後六時
から一区積善会館で、「ふ
れあい広場夏まつり」を
開催しました。今年は台
風五号が来ていましたが、
雨が降る事無く祭りが行
えました。

公私ともお忙しい中、
壬生町長・高野公民館長・
古瀬区長・松沢支館長に
来賓としてご列席頂きま
した。

子供ふれあい広場では、
祭り開始一時間前から、
育成会・PTAによるゲー



ムで祭りを盛り
上げ、ステージ

の皆さんによる太鼓演奏
をして頂き、プチエンジェ
ル・柿丸シスターズ・フ
ラダンス ルアナの皆さん
の踊り、丹山流範重会
の三味線演奏と三味線の
生伴奏で、さくら会・さ
つき会の皆さんを中心に
全員で盆踊りを楽しみ、
育成会・PTAによる子
供花火大会、華麗に夜空
を染めた祝い花火の打ち
上げ、一勢会・「のよさ
の会」による夜店、五月
の親子ふれあい教室で祭
りの盛り上げを目的とし
て昨年から始めた、段ポ
ールを使用して作成した子
供御輿を、小学生・保育
園児の皆さんが賑やかに
担いで大いに盛り上がり、
祭りの最後に行われた大
人と子供に分かれたお楽
しみ抽選会で祭りは最高
潮、三百人程の皆さんに
参加して頂き、大変に賑
やかで、楽しい「ふれあ
い広場夏まつり」が出来
ました。

第二十九回下二納涼祭

二区分館長 塩沢 章好

七月十三日(土)天気予報
を見ながら、午後一時か
ら自治会・常会長会・共
星会・明星会・育成会・
お助けマンの会・地域農
政・安協・視聴覚・通信
員・司会者等の協力を頂
き、準備を始めました。

午後三時頃からポツリポ
ツリと雨が落ちてきて、
はつきりしない天候にな
り、屋外をあきらめ会館
内での実施に決定しまし
た。

町長・公民館長・区長・
支館長の四名を招き、午
後六時から自治会長
の挨拶で始まりまし
た。

紅華太鼓・子供達
のダンス・柿楽会の
踊り歌・ニューサウ
ンズの演奏、室内で
聞くと響きも良く迫
力がありました。

「パプリカ」に合
わせて明星会の子供
達も二回踊って頂き
ました。子供花火大
会は中止になり配布
のみでした。参加者



全員で百歳音
頭を踊り、大
抽選会となり

三二運動会

て競技が始まりま
した。五常会の対
抗戦ですが子供か
らお年寄りまで出

四区では九月二十九日 来るように「早く」では
 区民会館に於いてミニ運 なく、大勢が「参加」す
 動会を、参加者百二十名 る事に重点を置いて競技
 と区長他六名の来賓を招 しています。各常会長は
 いて行いました。健康運 多くの参加者の中から選
 動を四区の女性グループ 抜するのにご苦勞されて
 「ホイ、いかまい会」の指 ました。

導で全員が行い、分館主
事の司会で分館部員・支
館部員が進行運営を行っ
ゲームは今回が初めて
の囲碁ボールに始まり、
輪投げ・玉入れ・紐結び・

六区自治会長 榑原正倫

晩夏を飾る「市田灯籠流し大煙火大会」も今年、数々の夏のイベントとなっております。

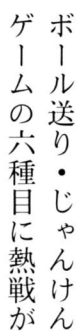
事が出来ました。その昔、物故者の御霊を慰め供養する為、地区の方々が各地へ出向き浄財を仰ぎながら手作りの祭礼とともに大煙火大会へと少



自分達が今日あるのは御先祖様のおかげである事に感謝し、未来を、そして地域や世界の平和が続く世の中である様に願いを込めて灯籠を流し、花火を打上げて来たと先輩達よ

り言われておりますが、これも地域の皆様の御協力あつての賜物と痛感いたしております。

当地区でも少子高齢化やサラリーマン世帯が多くなり準備作業や寄付集め、前日から後片付けにまで人手不足が深刻な問題となっており、役員の負担が増して将来の運営も危惧される様になってまいりましたが、地区の諸先輩のお知恵と人脈で今年も夜空に輝く大輪の花火と水面にゆらぐ灯籠を見る事が出来ました事、真に感無量の心持ちでした。歩行者天国に目を移



縄り広げられました。囲碁ボールは穴に三個以上が並んだ「ライン」を作るのが難しく、又紐結びでは米袋から30cmを引く人又は2mを引く人それぞれに笑いとおどろきの歓声が起きていました。

競技に臨む姿は真剣そのものでしたが、心のふれあいも大切にすることができ、笑顔いっぱい楽しい運動会になりました。

せば若者達や家族連れ。どこからこんなにも人が、と思う程皆さん露天と花火を楽しんで思い出を作っている姿を見る事も（ゴミ問題を除けば）実行できて良かったと思えます。

末筆ではございますが区代議員、二区の各戸の皆様はじめ、安協・消防団・商工業者の方々・町役場職員の皆様、本当にありがとうございます。

来年以降も試行錯誤を繰り返しながらでも頑張つてまいります。どうか御協力の程、お願い申し上げます。

環境衛生委員長 矢澤民樹

大きな自然
あります。

区民のみなさまには日頃、環境衛生関係の諸事業にご協力いただき、心から感謝を申し上げます。さて毎月一回実施して

いる資源ごみ収集の時間ですが、下市田区は今年度、自治会によってまちで、三十分、四十五分、一時間の三通りに分かれています。

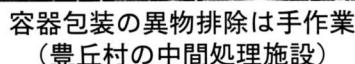
これらの点を踏まえ、収集時間を三十分としつつ春夏（四～八月）はやや早い時間帯、秋冬（九～翌三月）はやや遅い時間帯にするのがいい

近年、全町的に収集時間の短縮が進んでおり、協力員の負担軽減などの点からも、出来れば三十分で揃える方が望ましいと思います。十月までの実施状況を見る中では、

のではないでしょうか。最終的には自治会ごとにご判断いただくことになるとと思いますが、検討を進めて参りたいと思いますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

三十分でおおむね大丈夫だと思います。

また下市田区では毎年九月第一日曜日に防災訓練と資源ごみ回収が重なるため、防災訓練を早めに切り上げる自治会もあり、十分な訓練が行われていないと



はじめての組体操

小五 池田桃音(二区)



私は、今年の運動会で初めて組体操をしました。みんなと協力してやる組体操は、はじめは楽しそうだったけど、やってみると、とても難しかったです。

私は逆立ちが苦手で、ペアに足を持ってもらうのも最初はとても怖かったです。でも、ペアの子は全然怖がらずに足をあげて、私は安心して受け

ることができました。先生に「相手アを信じて足をあげてごらん」と言われました。それでも不安でなかなか足を高くあげられなかったけど、ペアの子は必ず受け止めてくれるくれました。ペアでやる技はもう二つあり、トンボとサボテンです。二つとも肩車をする技で私は下でした。肩に乗せてあげるのとはとてもつらかったです。特にサボテンは、そこから

私の太ももに立ってもらった。先生に「相手アの子も怖いという気持ちばかりでした。はじめは失敗ばかりでした。

でも、一生けん命練習したのでまだ少し不安はあったけど、失敗せずにできるようになりました。本番では、練習とちがい、たくさん観客がい

て、とても緊張しました。ペアでやる技は成功し、一番不安だった逆立ちもできました。みんなそろっ

家族とのキャンプ

小六 細田 怜(六区)

ぼくは土日や祝日に、お父さんやお母さん、弟といっしょにキャンプに行きます。

四年前に初めてキャンプで一泊しました。

その時は、準備するのに半日くらいかかっていました。

火をおこすのにも何時間もかかり、なかなかご飯を食べ始めるのに、かなりの時間がかかってしまいました。

けれど今はお父さんや

弟と協力してすぐに準備をして火をかこみながら、トランプをしたりウノをしたり弟とオセロやお父さんとしょろをしたりしています。キャンプは楽しみなが不便を楽しむものだと思っています。

なのでふだんテレビを見ている時は時間をわす

れて何時間も見てしまします。

けれどカードゲームや、ボードゲームをしているとあきてきてしまつてそんなに長く続きません。

このことでぼくはふだんドラダラ、テレビを見ている時間の長さをあらためて感じました。

なのでキャンプの時は、テレビからはなれて、家族で会話をしながらあそんだりしています。

このような時間はとても大切だと思います。

だからぼくはキャンプが好きです。



代議員会研修旅行

今年の代議員会研修旅行は九月二十六・二十七日の二日間好天に恵まれる中行われました。白山

た素晴らしい演技ができてとてもうれしかったです。

青い空に「せーの」の声がひびくのが来年で最後だと思ふとちょっとだけさみしい気持ちになりました。

白山ホワイトロード經由で白山市に入り、全国凡そ三千の白山神社総本社である加賀白山比咩神社、白山開山の泰澄が最初に開いた白山信仰の中心である苔の美しい越前平泉寺白山神社、東海道筋からの登拝路にあたる美濃長滝白山神社はそれぞれ山岳修験と神仏習合が作り出した不思議な信仰の地で、現在の混沌とする世の名に何か似ているものを感じました。途中坂井市にある丸岡城では、天守閣から雲一つない白山を眺望することができました。関戦国武将柴田勝家が養子勝豊に築かせた城で天守閣は石の瓦葺き、堀を巡らした堅固な造りで勝家の居城北の庄城を守らせました。柴田勝家は賤ヶ岳の戦い

で秀吉に敗れ、江戸時代元禄年間まで「一筆啓上火の用心お仙泣かすな馬肥せ」で有名な本多重次の本多家が治めた。現存する日本一古い天守閣。今年には新任代議員も多く、区三役・支館三役と、また代議員相互の膝を付き合わせた懇談も進み、今後の代議員会運営に大いに成果が上がったものと思われまふ。

一区副自治会長

鈴木信孝記

編集後記

二回目の編集委員会、104号は二大事業の夏祭り・ふれあい広場の紙面となるため十月十三日に終わり、終わってすぐに原稿書いて、校正してと忙しい中、編集委員研修旅行もあり、ご苦労さんでした。

